

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 11 日

所属	人間社会学部	職名	教授	氏 名	和田義人
研究課題	2050年の地域共生社会構築に必要なネットワーク ～DX を絡めた実践的地域包括ケアシステムネットワークの構築～				
研究キーワード	地域共生社会、ネットワーク、農福連携、多世代の繋がり、ダイバーシティ、ユニバーサル就労、モビリティ、社会的弱者、ヤングケアラー、認知症対策、DX, OX, PX	当年度計画に対する達成度		3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した	
関連するSDGs項目	1. 貧困をなくそう	3. すべての人に健康と福祉を	8. 働きがいも経済成長も	11. 住み続けられるまちづくりを	

1. 研究成果の概要

- ・2024,10,5 「福祉こねくとフェア」を開催 ※開催場所：本学 1101 教室、1102 教室、教室前学生ホール
 <開催目的> 知的障害（児）者を中心に、地域共生社会実現に向けた健常者と障害者の交流の場を設け、障害福祉の未来について座談会を開催した。
- ・2024,12,21 市川市肢体不自由児（者）父母の会フォーラム「マナフェス 2024」を開催
 ※開催場所：本学 1101 教室、1102 教室、1103 教室、1104 教室、1 号館 1 階 EV ホール
 <開催目的> 市川市協賛、市川市肢体不自由児者父母の会が主催となり、そこに市内の民間福祉事業所、本学人間社会学部の学生が中心となって実行委員会を組織し、インクルーシブ社会実現に向けた様々な課題について、議論を深めた。

2. 著書・論文・学会発表等

（できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

なし

【著書・論文（査読なし）】

SDGs と大学「安全・安心な都市・地域づくり」第 4 章 4-1,4-2 2024,3,31 千葉商科大学 学長プロジェクト

【学会発表等】

テーマ：「2050 年に向けた社会の変容」イベント名：『朝日新聞社～寺子屋朝日「生徒に伝えたい介護のしごと リアルを知りキャリア教育に生かす」』2024,11,20 場所：朝日新聞社本社

3. 主な経費

地域包括ケアマネジメントの実践的な概念構築、地域共生社会実現に向けた課題抽出の為、学会やセミナー、各地域で開催されるオンラインケア会議、家族会等に参加しながら、先駆的な取り組み事例をピックアップした。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

令和6年度 文部科学省委託事業 外部評価委員（文部科学省）

（本文は2ページ以内にまとめること）